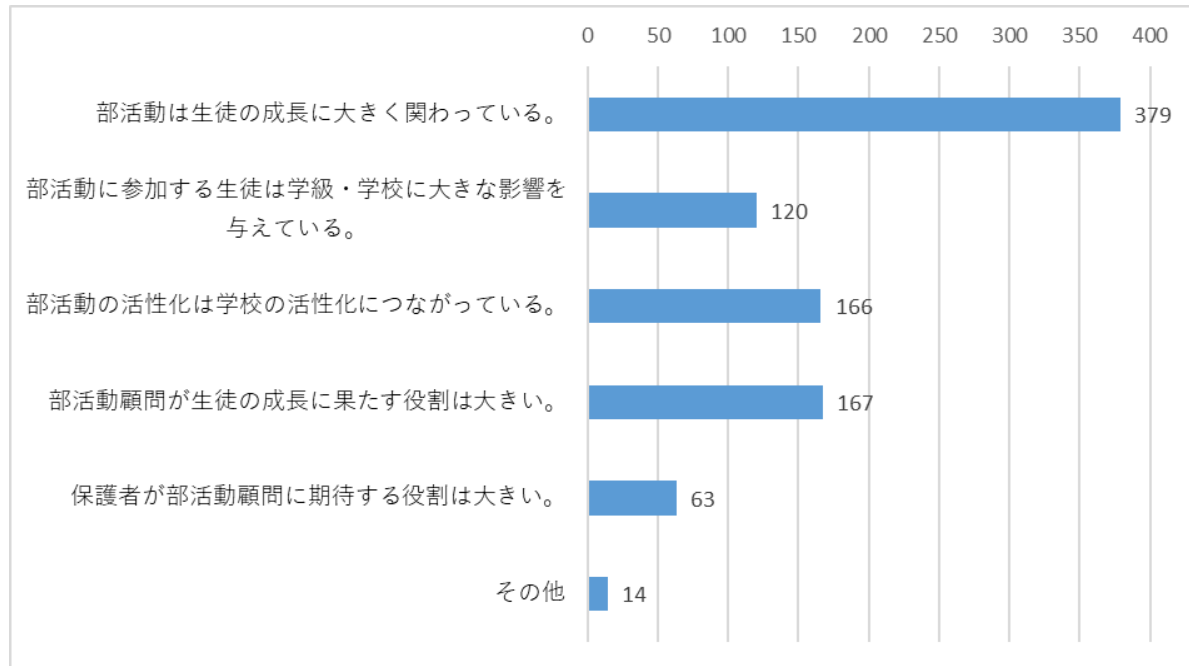


部活動の地域移行に関する教職員アンケート結果

実施日：令和6年6月11日～6月24日

回答者数：427人（小学校276人 中学校151人・うち部活動顧問数134人）

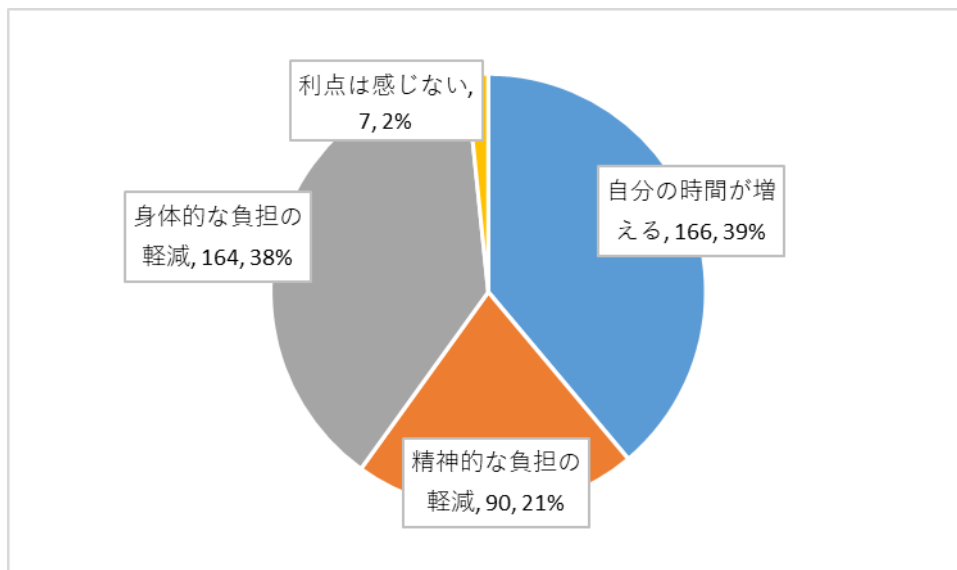
●部活動について、あなたの考えに近いものを3つ以内で選んでください。



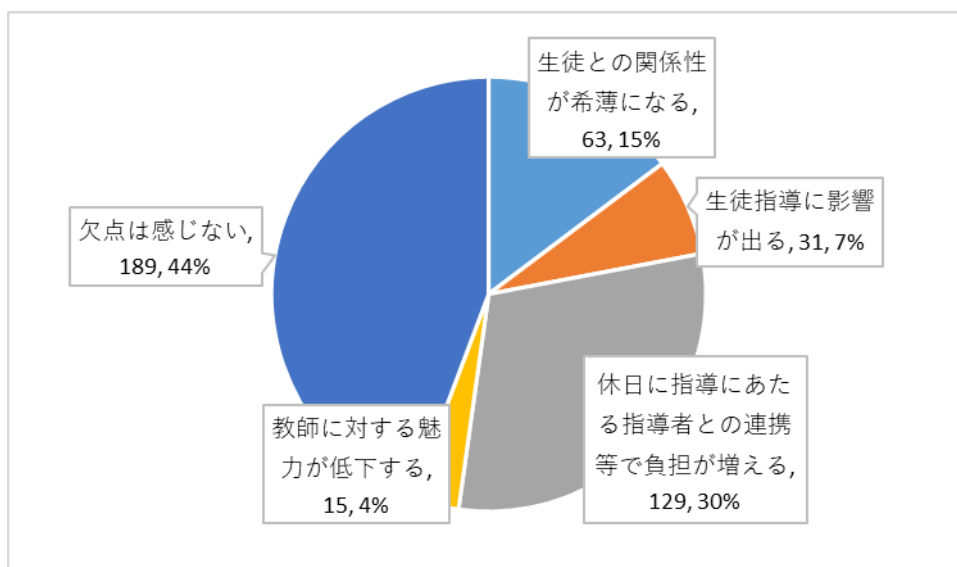
【その他の意見】

- ・ 教員が顧問をしなければならないということに違和感を覚える。
- ・ 部活動は子どもの成長に関わるが、教職員の負担が大きく授業や生徒指導の準備が疎かになる。
- ・ 部活動は教員の負担増加に大きく影響している。
- ・ 部活動は、教員やその家族の生活に大きな影響を与えている。
- ・ 部活動はすると楽しいがしなくてもよい。
- ・ 子どもたちの成長にも関わるがそれ以上に職員の負担も大きいものである。
- ・ 学校外での運動、文化活動に期待する。
- ・ 外部顧問にお願いする方が専門的な技術や知識を手に入れられるのでそちらの方がよいと思います。
- ・ 社会体育やコンクールなど部活動以外で生徒たちが輝ける場が増えているので、部活動のみが生徒の成長に関わっているとは言えないと考える。
- ・ 利点もあるが、課題も多い。
- ・ 負担が大きい。自分の経験したことがない分野も任されることもあるため。
- ・ 部活動は学習活動においてなんの役割もない。

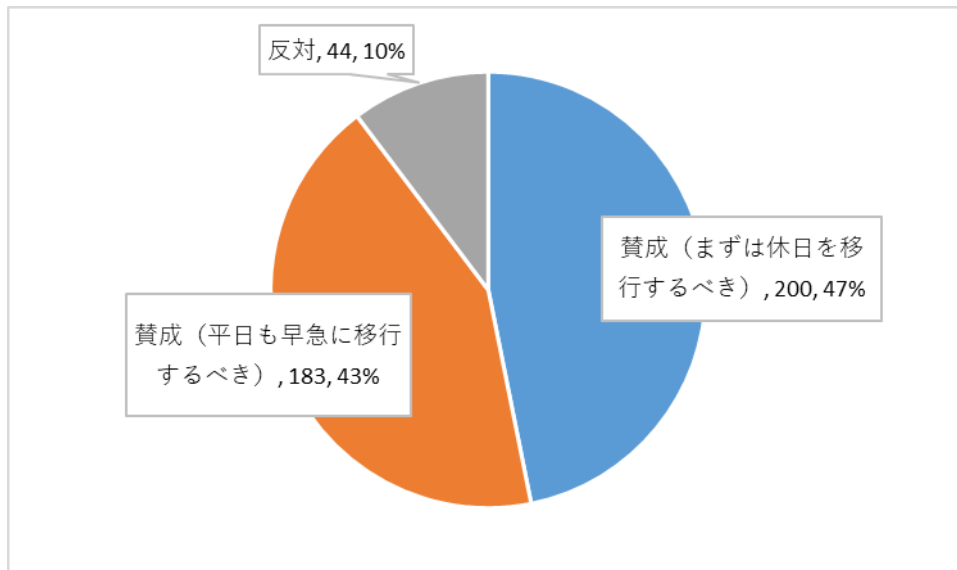
●教員にとって、休日の指導（学校部活動及び地域クラブ活動）に従事しないことによる利点について、最も当てはまるものを下記から選んでください。



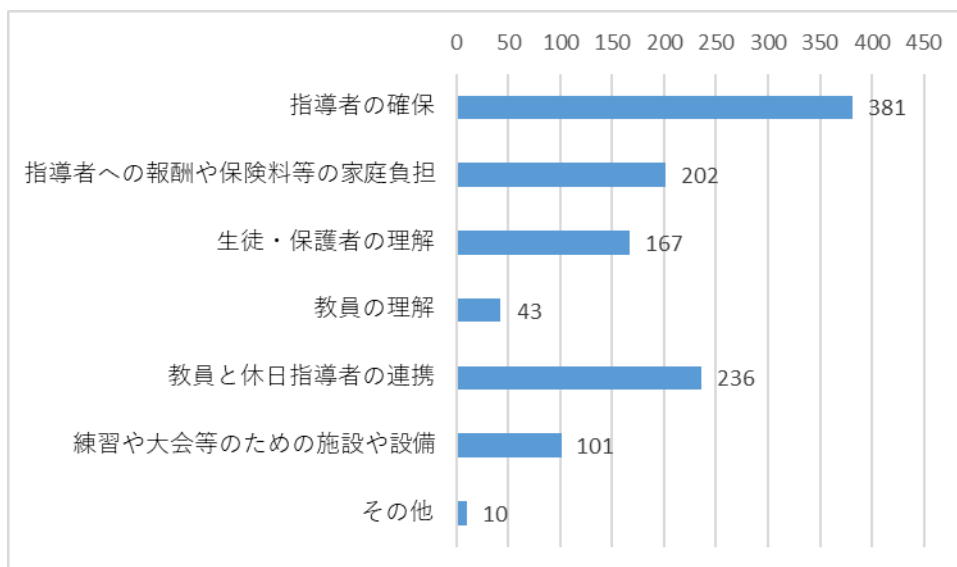
●教員にとって、休日の指導（学校部活動及び地域クラブ活動）に従事しないことによる欠点について、最も当てはまるものを下記から選んでください。



●部活動が地域クラブ活動として、学校の活動でなくなることについてのあなたの考えに近いものを選んでください。



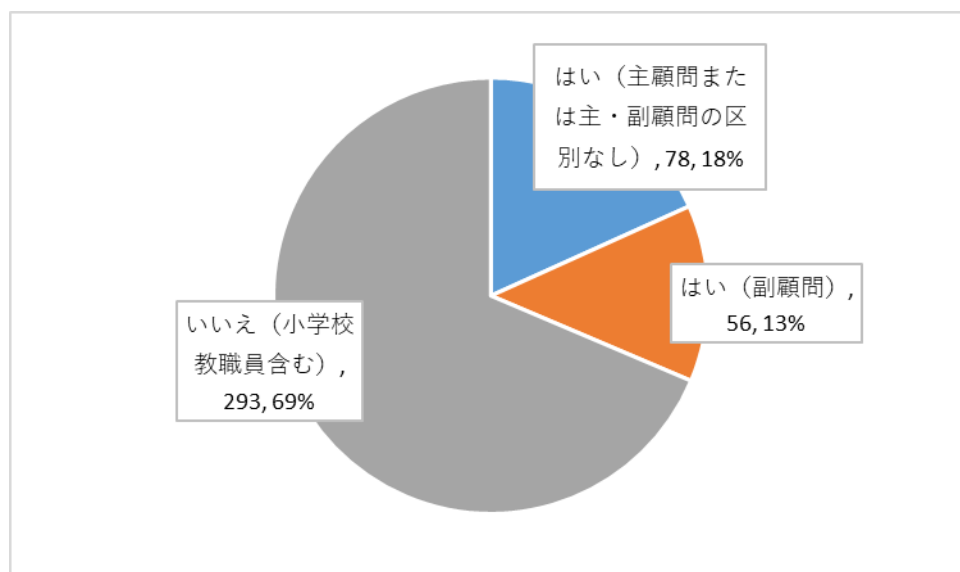
●休日部活動の地域移行について、課題と思われることについて、上位3つまでお選びください。



【その他の意見】

- ・ 安全に関する取り扱い。
- ・ 指導の仕方や関係性の確立に生徒が戸惑う。 / 指導者の適性。
- ・ 部活の指導をしたいために中学校の教員を選んだ人への対応。
- ・ 大会運営（役員の数不足、責任者など）、他校生徒間トラブルはどこが解決するのか、上記にある休日指導者との連携はどこまで必要なのか、など。
- ・ 指導者と顧問と保護者の三角関係。
- ・ 部活内で問題が起こった時の責任の在処。

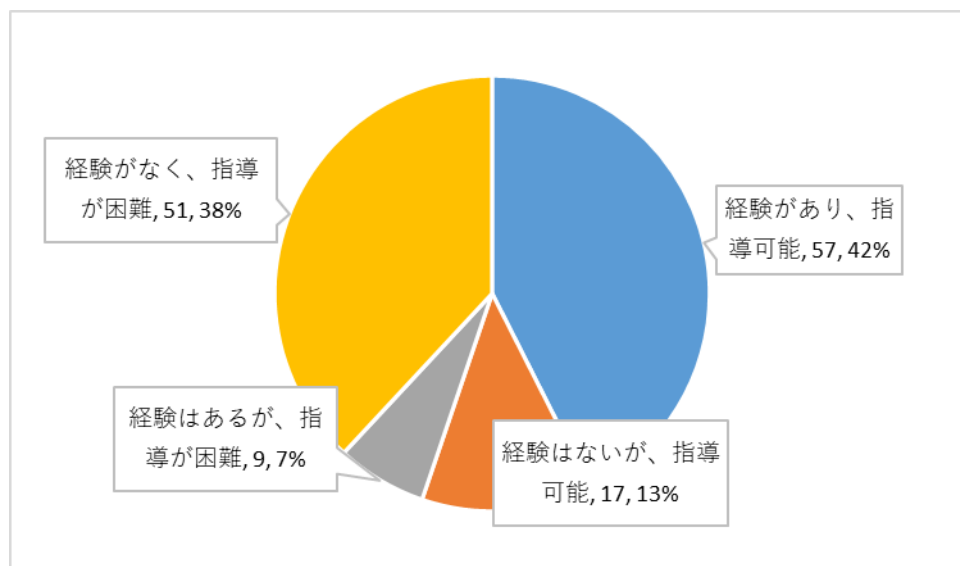
●現在、部活動の顧問をされていますか。



◆現在顧問をしている部活動を選んでください。（顧問 134 人対象）

サッカー	7	ソフトテニス	15	ソフトボール	2	バスケットボール	18
バレーボール	11	弓道	4	剣道	8	柔道	2
水泳	3	卓球	9	野球	11		
陸上競技	14	パソコン・マルチメディア	4	ホームメイキング	1	英語	5
華道作法	2	合唱	6	吹奏楽	9	美術	8

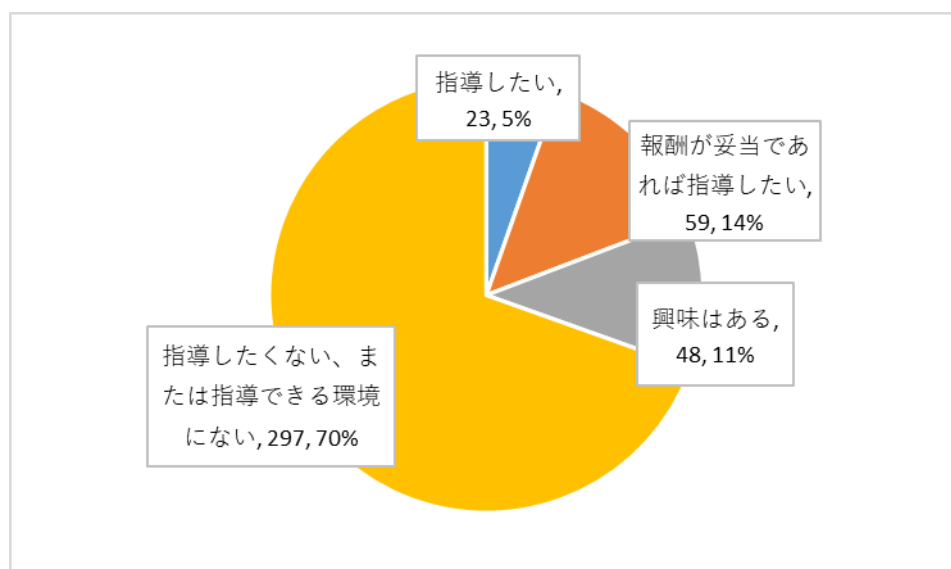
◆現在担当されている部活動は、経験のある種目・内容ですか。（顧問 134 人対象）



◆現在担当されている部活動は、土日祝日も、ほぼ毎週活動していますか。

「いいえ」と回答…パソコン・マルチメディア、ホームメイキング、英語、華道作法、美術

●中学校の休日部活動が地域クラブ活動に移行する際、指導可能な種目や内容であれば兼職兼業の形で指導することを希望されますか。



内訳

	指導したい	報酬が妥当であれば指導したい	興味はある	指導したくない、または指導できる環境がない	計
小学校	3	25	26	222	276
中学校	20	34	22	75	151
合計	23	59	48	297	427

●指導可能な種目を教えてください。(対象：「興味はある」以上の130人)

【既存の種目】	
サッカー 14	ソフトテニス 17
ソフトボール 5	バスケットボール 10
バレーボール 12	弓道 6
剣道 3	柔道 2
水泳 7	卓球 6
野球 30	陸上競技 12
パソコン・マルチメディア 1	ホームメイキング 0
英語 1	華道作法 1
合唱 10	吹奏楽 15
美術 3	
【その他の種目】	
テニス 1	バドミントン 1
バトントワリング 1	ハンドボール 2
空手道 1	少林寺拳法 1
書道 1	華道 1
茶道 1	
計 165 人 (複数回答)	

●部活動の地域クラブ活動への移行についての考えをご記入ください。＜任意＞（主な意見を示しています。）

・ 長い年月部活動が中学校に根付いてきたことを考えると、休日移行ですら課題が多すぎてなかなか進まないと思いますが、保護者の期待に応えるために、家庭やプライベートな時
--

間を犠牲にされている先生方のことを考えるとできるだけ早く全面移行するべきだと思います。

- ・ 兼職で部活をしても、教師のメインは授業であることを忘れてはいけない。
- ・ 指導したい教師の中でも、様々な意見があるので、単純に部活動のスタッフが増えるという意味合いの外部委託として、監督業をどちらがするかは相談し、部の練習内容など決めていけばいいと思う。半面、土日にチームでトラブルがあった際の指導が難しくなる心配がある。
- ・ 指導者人材の確保、学校との連携などが課題としてあげられる。若手教員の部活に対する熱意や関心が急激に広がっている現状がある。喫緊の課題ではあるがスムーズな移行をしなければならないが困難が多い。
- ・ 地域移行していくことで、教員の負担が減り、教材研究や家族との時間を持てるようになる。教員の仕事はやろうと思うと無限に増えていくので、トップダウンで移行できるもの削減できるものを減らしていったほしい。まずは現職教員の心身を大切にすることが教職の魅力向上につながり、将来教職を志望する学生の増加につながると信じる。
- ・ 中学校の教諭になりたくない理由が、休日の部活動指導だったので、地域移行は賛成です。
- ・ 勤務時間外に部活動が行われていることが問題だと思います。日常の業務や、授業準備に時間をかけるべきだと思います。教員の働き方改革のためにも進めるべきだと思います。
- ・ 教師の負担軽減のためには、どんどん推進してもらいたい。ただ、人の確保がネックになると思う。報酬などを含めた予算をしっかりと確保してもらいたい。人の善意に頼るものであってはならないと強く思う。ここまでの状態を放置してきた行政の責任を果たしてほしいと思います。
- ・ 賛成です。休日の問題はもちろん大きいですが、専門的に競技をしてきた指導者に教えてもらうことが凄く大切だと思います。専門的な知識や練習方法は今は情報もたくさんあるがやはり経験値のある指導者に教えてもらえると技術の向上にも繋がると考えています。経験がない部活を教員が顧問という形で指導することも安易ではないと考えています。その上、「休日も返上で」となると負担がかなり大きいので精神・身体・金銭的すべてを考えて早急に進めてほしいと思います。
- ・ 部活動も地域クラブでも、一人顧問のような形がさまざまな課題を産んでいると思っています。生徒がケガしたときの対応の苦慮／活動が閉鎖的であることによる行き過ぎた指導／大会を引率したときの、大会運営と指導者としての動きの両立／指導者が急な不幸ごとなどで動けないときの、活動休止の心苦しさ 等。 自分自身は、現在の家庭環境では難しいと思っていますが競技によっては意欲はあります。地域クラブに移行した際は、複数の顧問や指導者でクラブ活動を見ていける形が必要だと思っています。
- ・ 部活動が学校教育に果たしてきた役割は大きく、また顧問と先生との信頼関係も学校現場としては大きなものであると思います。また、保護者もそのような中学校時代を過ごしてきたので、中学校の部活動の変革には少なからず違和感を感じると思われます。しかしながら、中学校教員を総体的にみると、部活動が労働環境に大きな負担と感じている人は少なくないと考えます。大きな変革には反論も出てきますが、今、この時点で部活動の在り方を変えないといけないと強く感じます。部活動に頼らない魅力ある学校づくりを中

学校現場でも取り組んでほしいと思います。

- ・ 地域移行には反対ではないが、会費が発生することにより、一部の子どもが様々な活動を体験できる機会が減少することが懸念される。また、地域クラブ化して他校での活動を選択できるとなれば、強い学校を選ぶ生徒が出てくる可能性が予想され、結果的に勝利至上主義となってしまう。その結果、初心者や技量の低い生徒は相手にしない指導者が現れる可能性も懸念される。
- ・ 地域移行は職員の負担が減りとても良いと思う。しかし、自分のしてきたことを子どもに教えたいという一心で教師を志望してきた人もあると考えられる。自分もその一人なので。教員の適材適所への配置(経験スポーツを指導できるようにするなど)を行って行くのが、部活動の移行よりも先ではないかと思う。
- ・ 社会の変化、時代の流れによる地域への移行は仕方ないと思われます。しかし、香芝市の動きが遅いのが気になります。ほかの府県や郡市の様子を静観するのも大切ですが、教員にも人生があり、急な人生プランの変更は厳しいです。選手にまったく練習環境がなくなるのは避けたいですが、教員の優しさに依存する現在の形を変えていく必要があります。現行の部活動に、適切な報酬を支払えば納得して部活動指導をする教員が多数おられるはずです。今後の香芝市の英断に期待しております。
- ・ 兼業という形で今のまま続けられるのであれば賛成である。その意欲がいつまで続くのかはわからないが、少なくとも今の1年生が3年生になるときが令和8年度となるので、その年度は同じように生徒のために頑張りたいと思っている。さらなる働き方改革を考え、兼業という形であれ教師の休日部活動に関わることを禁止とするのであれば、全体的に実施するべきであると思う。
- ・ 平日での部活動指導をしているのに、土日の試合、記録会に指導にあたれないのが納得できない。
- ・ 部活動の顧問をしたくてこの仕事をしている方々もいるのでその人たちの意見も大事にしてほしい気持ちはある。
- ・ 部活動は子どもたちにとってすごく有意義な活動だと感じています。部活動を学校から切り離すよりもっと学校の業務を減らすべきだと思います。やるべきことが増える一方で減ることはほとんどないように感じます。人数を増やすか業務を減らすかで部活動に費やせる時間が増えるかなと思います。また、部活動に参加しない教員が増えることにより大会運営等は支障なくできるでしょうか？また、どこの部活動でもできるだけ金銭面で負担にならないように工夫を凝らしてきたと思います。地域移行になるにあたってそういう面でもどこまで配慮できるのかなと心配になります。指導者の確保が困難な種目は部活動が存続可能であるか。移行できる部活動とできない部活動で負担の格差が起こるがどのようにして格差が無くすのか。以上の二点が不明瞭であるように感じます。
- ・ 専門の指導者に教えてもらえるという点や学校の人数が少ない部活については合同で取り組んだ方が刺激にもなっていると思います。
- ・ 平日に練習を行いますが、その成果を試す練習試合や、公式戦などは関わる事が出来ないで意識が下がる。地域移行してまで参加したいとは思わない。外部指導員との連携が難しい。結局、外部指導者が確保できず、中学校の教員(顧問)が、外部指導者を強制で

- やらないといけなくなっている。そうでないと生徒たちが困る形になると思う。
- ・ これまでは、教職員同士が学校の中で連携し、生徒理解の元、指導にあたることができていたことが大きなメリットだと思う。外部委託となった場合でも、生徒の成長の場としての部活動となるように、指導者の人材を確保することが必要だと感じます。
 - ・ 基本的には賛成だが、学校生活の中では、職員はかなりきめ細やかな対応をしていて、それは部活動の指導においても同様であると思う。思春期である子どもたちの気持ちを汲んで、寄り添いながら伸ばしてあげられる指導者でないと部活動でのトラブルや子どもどうしのトラブルが増え、学校生活にも影響が出ることが懸念される。教員の数が圧倒的に不足している中で、果たしてそのような部活動の地域指導者をどれほど確保できるのか疑問である。
 - ・ 勝利主義に走らず、子供の成長の一助となる取り組みを模索していただきたい。子供を核として、保護者や学校教師、地域指導者の三者が連携を密にして、円滑な関係を保つことも不可欠。
 - ・ 教職員の負担軽減や（部活動、教科指導、その他、生徒への関わり方は人それぞれですので、それぞれが重きを置く）仕事へのやり甲斐、メリハリのある勤務のために必要だと考えます。ただし、週休日の移行については積極的に議論されていますが、平日の指導（勤務時間外）についてほぼ議論されていないのはいかがなものかと考えます。中学校では、ほぼ毎日2時間程度の時間外勤務が必須となっているところを、行政サイドが（使用者として）どう考えているかをアナウンスする必要は感じます。
 - ・ 教職員の労働環境や生徒の学習環境の健全化に向け、休日は当然として、平日も早急に地域移行を実施する必要がある。
 - ・ 地域の受け皿や指導者、施設、保護者の理解等をはじめ、環境整備がまだ十分なされていない中での移行は混乱や、活動の衰退につながるのではないかと、また、学校生活にも影響が生じ、混乱が生じるのではないかと危惧します。
 - ・ 教員と地域の指導者のダブルスタンダードで大変だとも思います。平日教える教員は専門家ではない割合が高くなると思うので、生徒に指導が入りにくくなるのではと思います。また、引き継ぎ等も大変だと思うので、早く完全移行した方が良いと思います。
 - ・ 今まで長い間、学校教育活動の中に部活動があり、毎日の教育方針に沿って、競技技術だけではなく生徒の育成をしてきた。地域の活動になれば、生徒は他校生徒と切磋琢磨し、競技力も伸びるなど、良い効果があることも理解できる。しかし、平日はどのような姿勢で学校生活を過ごしているのか、など見えない他校生徒に競技技術を指導するのは、まだ少し違和感がある。現在、合同チームを組み、活動してる顧問の先生方もおられ、この考えは古く、ダメなこともわかっているが、学校生活と部活動をどのように切り離されるのが不安を感じる。また、それぞれの競技特性にもよると思うが、平日と休日で指導者が変わること、生徒にも教員にも様々な影響が出ると感じる。
 - ・ 地域クラブ活動で他校を含むメンバーでの生徒指導などが増え、解決がしんどい状態になったり、平日に行う部活動の意義の希薄化。平日に行われる学校内での顧問（競技の経験がない）の指導を聞かなくなったり、デメリットの方が大きいと感じています。